

専攻の区分「社会システム工学」の修得単位の審査の基準の改正について

平成24年度から、専攻の区分「社会システム工学」の修得単位の審査の基準を改正します。改正後の審査基準による学位授与申請の受付は、平成24年度4月期からとなりますので注意してください。

専攻の区分

専攻分野の名称

社会システム工学

工 学

社会システム工学は、科学的方法論に基づく企業経営を含む社会経済システムの効果的・効率的なデザイン、マネジメント、政策に関する学問分野である。そのためにベースとなる「応用数理・システムと情報に関する科目」を学修し、主に企業活動のマネジメントに係る「経営・管理工学に関する科目」、または社会経済システムのデザイン、政策に係る「公共経済学・社会政策に関する科目」について学修することが求められる。以上の3つの区分をA群として、2区分以上を幅広く履修することが求められる。さらに社会システム工学における学修をより実効のあるものとするために、工学や社会科学の諸領域の専門的科目としてB群が設定してあり、実験・実習科目としてC群が設定してある。学士としては、A群の要件に加えて、B群について個人の関心に沿って学修を行うことが求められる。さらにC群の学修を通して実践的能力を涵養することが必須である。

● 修得すべき専門科目と関連科目の単位 (62 単位以上)

専攻に係る授業科目の区分	専門科目	
	<p>【A群】 (30 単位以上)</p> <p>○応用数理・システムと情報に関する科目</p> <p>○経営・管理工学に関する科目</p> <p>○公共経済学・社会政策に関する科目</p> <p>【B-1群 (工学の諸領域における専門的科目)】 (4 単位以上)</p> <p>○機械工学に関する科目</p> <p>○電気電子工学に関する科目</p> <p>○情報工学に関する科目</p> <p>○応用化学に関する科目</p> <p>○生物工学に関する科目</p> <p>○材料工学に関する科目</p> <p>○土木工学に関する科目</p> <p>○建築学に関する科目</p> <p>【B-2群 (社会科学の諸領域における専門的科目)】 (4 単位以上)</p> <p>○環境・安全・知的財産・倫理・心理に関する科目</p> <p>○経済学・経営学・商学に関する科目</p> <p>【C群 (社会システム工学に関する実験・実習科目)】 (6 単位以上)</p> <p>○社会システム工学に関する実験・実習科目</p>	左のA群の区分のうちから「応用数理・システムと情報に関する科目」の区分を含み2区分以上にわたること
	関連科目 (4 単位以上)	
	◇工学の基礎となる科目 ◇工学及び周辺技術等に関する科目	

■ 専門科目の例 ■

【A群】

○応用数理・システムと情報に関する科目

オペレーションズリサーチ (OR)、モデリング、数理計画、数理統計、経営数学、ゲーム理論、意思決定理論、多変量解析、データ解析、実験計画法、システム基礎、システム理論、システム工学、情報システム、ソフトウェア工学、データ構造、プログラミング、シミュレーション、ネットワーク、情報セキュリティなど

○経営・管理工学に関する科目

経営管理論、経営組織論、マーケティング、経営財務、原価管理、インダストリアルエンジニアリング、メソッドエンジニアリング、生産管理、スケジューリング、プロジェクトマネジメント、ロジスティクス、物流管理、品質管理、信頼性工学、人間工学、価値工学、経済性工学、設備管理、金融工学、リスクマネジメント、人事労務管理など

○公共経済学・社会政策に関する科目

公共経済学、公共政策論、マクロ経済動学、労働経済学、財政学、国際経済学、経済システムと政策、費用便益分析、環境経済学、住宅土地経済学、計量経済学、法システム、社会調査法、社会システム論、政策科学、社会システム計画など

【B－1群（工学の諸領域における専門的科目）】

○機械工学に関する科目

整理番号43の「機械工学」の専門科目の例のA群に区分される科目

○電気電子工学に関する科目

整理番号44の「電気電子工学」の専門科目の例のA群に区分される科目

○情報工学に関する科目

整理番号45の「情報工学」の専門科目の例のA群に区分される科目

○応用化学に関する科目

整理番号46の「応用化学」の専門科目の例のA－1群及びA－2群に区分される科目

○生物工学に関する科目

整理番号47の「生物工学」の専門科目の例のA－1群及びA－2群に区分される科目

○材料工学に関する科目

整理番号48の「材料工学」の専門科目の例のA群に区分される科目

○土木工学に関する科目

整理番号49の「土木工学」の専門科目の例のA群に区分される科目

○建築学に関する科目

整理番号50の「建築学」の専門科目の例のA群に区分される科目

【B－2群（社会科学の諸領域における専門的科目）】

○環境・安全・知的財産・倫理・心理に関する科目

環境アセスメント，環境政策，環境倫理，安全工学，企業と法的環境，知的財産，研究技術管理，技術者倫理，情報倫理，産業心理学，認知心理学，行動科学，環境心理学など

○経済学・経営学・商学に関する科目

ミクロ経済学，マクロ経済学，厚生経済学，経済政策，産業組織論，組織論，会計学，コーポレートファイナンス，流通論など

【C群（社会システム工学に関する実験・実習科目）】

○社会システム工学に関する実験・実習科目

社会システム工学実験，社会システム工学演習など